

# ボランティアセミナー

**趣旨** 青少年教育施設におけるボランティア活動についての目的や内容を理解するとともに、意欲を行動につなげる具体的な手立てを学ぶ取組で、ボランティア活動の実践力を身に付ける。

## 企画運営のポイント

1. 1泊2日の日程で、参加者同士で協力する活動を取り入れ、高校生、大学生、社会人間の交流を深めるようにした。
2. 先輩ボランティアとの交流の機会を多く設定し、ボランティア活動について具体的なイメージをもてるようにした。

**期日** 令和6年6月8日（土）～令和6年6月9日（日）

**対象** ボランティア活動に興味のある高校生、大学生、社会人

**人数** 高校生 15名 大学生 17名 社会人 2名 計 34名

## 内容

6月8日（土）

- ① 講義 : 青少年教育
- ② 講義・演習 : ボランティア活動の技術
- ③ 説明 : 青少年教育施設におけるボランティア活動

6月9日（日）

- ④ 講義・演習 : 安全管理  
講師 日高西部消防組合富川消防署日高支署
- ⑤ 講義 : ボランティア活動の意義  
講師 非営利活動法人 ezorock 代表理事 草野 竹史 氏
- ⑥ 講義 : 青少年教育施設の現状と運営  
講師 国立日高青少年自然の家 所長 山下 達也
- ⑦ 説明 : 法人ボランティア制度について

## 参加者の声

- ・ 野外炊事やアイスブレイクなど、非日常的な経験をすることができた。
- ・ 色々な人との交流ができ、今後のボランティアに参考になることを多く学ぶことができた。
- ・ 社会教育について学ぶことができ、ボランティアとしての心構えやボランティアリーダーさんの体験談を聞くことで貴重な経験となった。また、社会教育主事のことなど、キャリアのことについてもお話を聞き、選択肢が広がり、大変勉強になった。
- ・ 講師の方のお話を聞かせていただき、活発に活動されている団体を新たに知れてよかった。法ボラをやりたいというより一般的な「ボランティア」への意欲が高まった。

## 【成果】

- ・ 事業アンケートにおいて、「ボランティアの指導・助言・対応はどうでしたか」の質問に対して、「同じ学生ならではの視点で聞けてよかった」や「具体的なエピソードを基にボランティアのよさについて語ってくれたのがよかった」という声から、先輩ボランティアとの交流の機会を多く設定したことにより、参加者のボランティアへの興味・関心の向上につながった。
- ・ 事業後に参加者全員がボランティア登録を行ったことから、ボランティア活動に対する関心が深まり、実際に活動に参加しようとする意欲を高めることができた。

## 【課題】

- ・ 毎年参加する高校生が多いため、学びが深まるカリキュラム構成や内容を工夫していく必要がある。

